

殿様が愛した鳥たち

平成27年 6月10日(水)～7月26日(日)

A:6/10<水>～6/30<火> B:7/1<水>～7/26<日>

身近な生き物である鳥は、古くから多くの美術品に取り込まれました。古今東西、鳥は神の使いや幸福を表象する吉祥のイメージが仮託され、四季豊かな日本では季節の訪れを告げる存在としても、日常生活で愛でられてきました。花鳥画や鳥を象った工芸品などを展覧し、鳥に込められた想いを探ります。

No.	名 称	時代	世紀(年号)	展示期間	所蔵者
一、殿様と花鳥図					
1	鶏図 伝徳川家光(3代将軍)筆 周東家寄贈	江戸	17		*
2	砂糖鳥図 松平義建(高須松平家10代)筆	江戸	安政6年<1859>		*
3	鷹図屏風 神谷晴真筆 八曲一双の内 右隻 徳川慶勝(尾張家14代)所用	江戸	19		*
4	鷹狩絵巻 二巻の内	江戸	17-18	徳川林政史研究所	
5	百鳥図 神谷晴真・楠本雪溪筆 五巻の内	江戸	19		*
6	花鳥図 孫億筆	清	康熙51年<1712>	A	*
7	仙果双禽図 津田応奎筆	江戸	安永3年<1774>	B	
8	雪中鷹捉搦鶴図 狩野惟信筆	江戸	18	A	*
9	鷗鷺取魚図 熊斐筆	江戸	宝暦5年<1755>	B	*
二、鳥への関心					
10	訓蒙図彙 中村惕斎編 十三冊の内	江戸	元禄8年<1695>		
11	和漢三才図会 寺島良安編 八十一冊の内	江戸	正徳5年<1715>		
12	大和本草 貝原篤信(益軒)著 十冊の内	江戸	宝永6年<1709>	A	
13	北越雪譜 鈴木牧之著 三冊の内	江戸	天保12年<1841>	B	
14	摂津名所図会 秋里舜福編・竹原春潮斎画 十二冊の内	江戸	寛政8-10年<1796>		
15	喚子鳥 蘇生堂主人著	江戸	宝永7年<1710>		
16	絵本見立百化鳥 山本龜成著 三冊の内	江戸	宝暦5年<1755>		
17	鳥籠 徳川将軍家下賜	江戸	19		*

No. 名 称 時代 世紀(年号) 展示期間 所蔵者

三、鳥の意匠

18	將軍代替誓詞(控)	徳川継友(尾張家6代)筆	江戸	享保元年<1716>	*
19	錐形兜	徳川義直(尾張家初代)所用	江戸	17	*
20	柳箆	徳川義宜(尾張家16代)所用	江戸	19	*
21	龍図・鳩図軍扇	徳川義宜(尾張家16代)所用	江戸	19	*
22	鴛鴦図三所物	無銘 徳乗	桃山-江戸	16-17	*
23	岩に鶴鴿図目貫	無銘 栄乗	江戸	17	*
24	薄に鶴図小刀柄	銘 寿乗作 光美(花押)	江戸	18	*
25	富久良雀形文鎮	徳川義宜(尾張家16代)作	江戸	19	*
26	鴛鴦形筆架	徳川義宜(尾張家16代)作	江戸	19	*
27	雁形筆架	徳川義宜(尾張家16代)作	江戸	19	*
28	御深井焼鴛鴦形香合	徳川義宜(尾張家16代)作	江戸	19	*
29	阿蘭陀焼白雁香合	岡谷家寄贈	オランダ	18	*
30	瑠璃雀香合		明	17	*
31	唐花雁文紅花緑葉香合		明	16-17	*
32	諫鼓鶏蒔絵印籠		江戸	19	*
33	瓦鶏根付		江戸	19	*
34	象牙鳩鳴子笛根付		江戸	19	*
35	古銅鶏香炉		江戸	17-18	*
36	古銅鳩形水滴		明	16-17	*
37	古銅鳥形水滴		明	16-17	*
38	古銅鶏形水注		明	16-17	*
39	古銅鳥形水注		明	15-16	*
40	染付花鳥文一閑人火入	一対	明	17	*
41	牡丹孔雀文漆絵箔絵密陀絵足付盆		琉球	16-17	*

以上

本リストの番号は必ずしも展示の順序に則してはいません。

所蔵者のうち*は徳川美術館、空欄は名古屋市蓬左文庫を示しています。

作品の保存のため、展示作品および出陳期間を変更する場合があります。